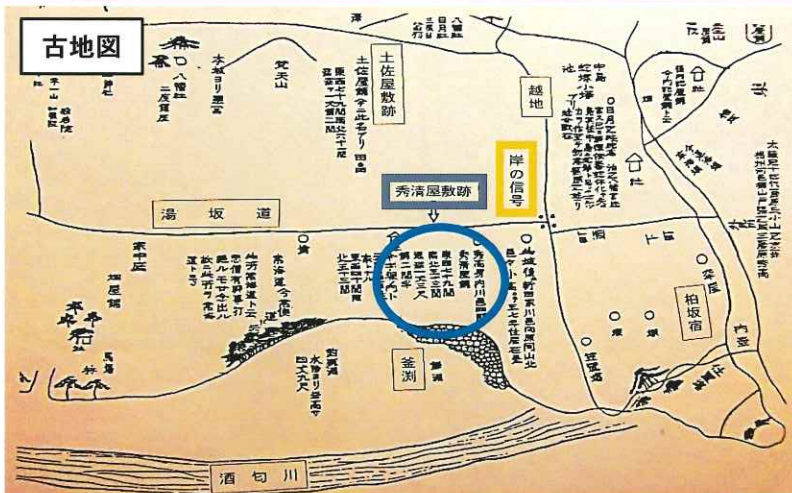




岸連合自治会・岸地区福祉協議会
 〒258-0112 足柄上郡山北町岸2061
 発行責任者 渡辺 良孝
 編集責任者 森田 知雄

岸散策スポット紹介 《河村秀清(ひできよ)屋敷跡》



江戸時代の中頃に作られた湯坂地区の古地図には、「河村秀清屋敷跡」が載っています。平安時代の末期に河村秀高が河村城(砦)を築いていますが、山城であり普段の生活には適さないため、城の南側の湯坂地区や、北側の城山地区・宮地地区等を中心に、武士達は屋敷を構えて暮らしていました。

「秀清屋敷跡」は現在の岸交差点から日向地区に向かう湯坂道の南側に位置し、『東西七十九間(約144m)、南北五十三間(約96m)、堀の深さ一丈三尺(約3.9m)、堀の幅二間二尺(約4.2m)』というかなり広い屋敷となっています。

河村秀清は河村秀高の四男で、幼名を千鶴丸(せんつるまる)と言います。秀高の跡を継いだのは千鶴丸の兄の三男・義秀(よしひで)でした。父・秀高の姉は源氏の頭領である源義朝との間に二男の朝長(ともなが)を産んでおり、河村氏は源氏との繋がりが強かったのです。

しかしながら源義朝の三男・頼朝が治承4年(1180年)に平家打倒の兵を挙げた時、義秀は平家側に味方し石橋山の戦いにも参加しています。

そのため頼朝は義秀の領地であった河村郷を取り上げ、身柄は有力な御家人であった大庭景義(おおばかげよし)に預け、首を刎(は)ねるように命じています。この時、千鶴丸はまだ4歳の幼子でした。

10年程が経過した文治5年(1189年)8月に、頼朝は奥州藤原氏を攻めています。最大の激戦地であった阿津賀志山(あつが

しやま)の合戦で、手柄を挙げた13歳の少年がいました。河村千鶴丸です。

頼朝はまだ元服もしていない少年が、弓を放ちながら何度も敵陣を攻撃したことに感激し、召し出しています。そこでこの少年が河村秀高の四男であり、かつて自分に敵対し処分をした河村義秀の弟であることを知るのでした。

頼朝にとっては反逆者の一族ではあるものの少年の奮戦を賞し、その場で甲斐源氏の有力者である加々美長清(かがみながきよ)を烏帽子親(えぼしおや)に命じ、双方の親の名前を一字ずつ採って「河村四郎秀清」と命名し元服させています。その後頼朝は岩手県志波郡を秀清の領地として与えますが、まだ子どもであったため管理を家来に任せ、本人は湯坂で過ごしていたものと考えられます。

《参考文献 山北町史通史編、頼朝の武士団 他》

カメラ 散策



目を上に向けて歩いていたら、①ニオイバンマツリの花に出会った。2mを越す木に鮮やかな紫の花、次第に白色に変化する。②藤の花、丸山に咲いていた。③ジャカランダ、大山豆腐工場跡に咲く。(今年はまだ咲いていないので去年の写真)なぜか、初夏の花木は紫が多いような気がする。他にも、桐の花、ライラックなど。

復活だ!! 八幡神社例大祭



お祭りを愛してやまないみなさんに、今年のお祭りは岸地区の活気を取り戻すとともに、伝統行事を途絶えさせないために是非とも実施してほしいとの、願いのもと“例大祭を工夫”しながら復活しました！

例大祭は、4月2日（日）桜の満開と重なり春本番の中、氏子総代と岸連合自治会、各自治会、神輿会にて神事が斎行されました。

来年は、もっと盛大に開催出来ることを願いたいものです。



神社の神主神事

挨拶



神輿運行



祓詞 (はらえことば)



連合自治会長

八幡神社総代総務



猿田彦



お供の人々



玉串奉奠 (たまぐしほうてん)

文命祭

酒匂川は、宝永4年（1707）の富士山大噴火による降灰のため河床が埋まり、大水が出るたびに氾濫を繰り返しました。

改修工事の指揮にあたった田中丘隅（きゅうぐ）は、堤が完成するとその上に中国の水神である禹王（うおう）の廟を祀りました。

禹王の別称が文命であることから「文命堤」と言われ、川の東西である西堤（岩流瀬）と東堤（大口）があります。

岸連合自治会では、毎年5月5日に先人の遺徳に感謝と、水難防止を祈願して岩流瀬西堤にて「文命祭」を行っております。今年は来賓・賛助会員をはじめ自治会関係者等参列のもとに神事を挙行いたしました。



神主の祝詞奏上

神主神事



文命宮と祭壇



祓詞 (はらえことば)



玉串奉奠 (たまぐしほうてん)

納涼花火の打ち上げ&ミニイベント開催

昨年好評だった納涼花火を今年も打ち上げます。昨年同様5分程度の規模となりますので、お見逃しの無いよう早めのスタンバイをお願いします。また今年は打ち上げ花火の前に、ぐみの木公園にて手持ち花火競争のミニイベントも開催します。

多くの方々のご参加をお待ちしております！

日時：2023年8月5日 土曜日

場所：午後7時よりぐみの木公園ステージにてミニイベント
午後8時よりぐみの木公園河川敷より打ち上げ花火

詳細は後日、7月の回覧でお知らせ致します。



写真は昨年の花火です



川村用水の清掃



4月16日(日)の朝、湯坂・越地・南原地区にて川村用水の清掃が実施されました。

暖かな日差しの中、滞りなく終わることができました。秋の豊かな実りが楽しみです。

岸地区に川村用水が完成したのは、江戸時代の終わりに近い寛政年間(1789~1801)です。山北地区の南側を流れる南山根堰から八幡神社脇にトンネルを掘って、越地・湯坂・南原地区に水を通したのです。

参加された皆さんありがとうございました。



南原



越地



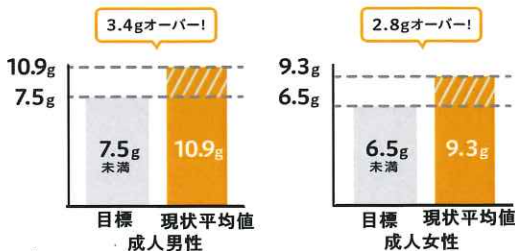
湯坂

健康普及員だより

～うま味やだしの力を活かすことで、おいしく簡単に減塩～

・塩分は控えめに

塩分のとりすぎは、高血圧や脳卒中、心臓病、胃がんを起こしやすくします。15歳以上の食塩摂取の目標量は、1日あたり男性7.5g未満、女性6.5g未満とされています。



初めまして



山口 新華(にか)ちゃん

保護者 友之・美穂さん(越地)
可愛い可愛い末っ子にかちゃん
♡毎日HAPPYをありがとう!

・塩分はどこから摂っているのか

全体の75%は「自分で味付けする調味料」44%、「塩分の高い食品」31%が占めています。「自分で味付けする調味料」は塩分を調整しやすいので、食塩の主成分である「塩化ナトリウム」を減らし、うま味調味料と風味調味料を使って「おいしい減塩生活」を推奨いたします。

・うま味の活用

うま味を活かせば、減塩しつつ薄い塩分濃度で味全体が強くなり、おいしさをアップすることができます。

・おすすめのうま味減塩調味料

健康寿命を伸ばすためには、毎日の食事が基本となります。バランスの整った食事が重要です。

まずは、いつもの調味料から減塩調味料に置き換える事で、手軽に減塩をしながら、食生活を楽しみたいと思います。



「やさしお®」



「お塩控えめのほんだし®」



「丸鶏がらスープ」
(塩分ひかえめ)



「味の素KK コンソメ」
(塩分ひかえめ)

5月15日健康普及員定例会、味の素株式会社「おいしく食べて健康づくり講演会(減塩編)」より

<防犯指導隊の活動紹介>

防犯指導隊は安全で安心な住みよいまちづくり条例に基づき、

- ・夜間巡回パトロール(毎週1回)、
 - ・イベント時の出動、
 - ・防犯指導、
 - ・自主防犯意識の普及、
 - ・関係団体との連絡/協力等
- を行っています。

指導隊員は相互に密接な連絡をとり、協力をしながら防犯活動を行っています。岸地区には現在下記3名の指導隊員がおります。

川本渉(越地)、鈴木収(越地)、石田保男(原耕地)、

地域においては、岸地区夏祭り・青少年健全育成会パトロールへの出動等で、自治会と地域ぐるみで連携しながら青少年の非行防止、不燃物等の不法投棄なども含めた防止活動にも取り組んでいます。



お知らせ・今後の日程

- 8月 5日(土) 岸地区夏祭り納涼花火
- 9月 3日(日) 総合防災訓練
- 9月 17日(日) 河村城祭り
- 10月 (未定) 敬老茶話会(未定)
- 10月 8日(日) 山北のお峰入り(川村小学校)
- 10月 15日(日) 町統一美化クィンズパレード

編集後記 5月8日からコロナは感染症法5類に移行しました。しかし、まだまだ安心出来る状況ではないようです、皆さん注意して行動しましょう! また、5月で35℃近い気温となっています、熱中症にも十分注意するようにしましょう! 岸広報内容について、お読みいただき、皆様のご意見をお寄せいただくと嬉しいです。